

平成29年度決算状況からみる市の財政状況は健全です。国が自治体の財政状況把握のための指標を設けており、その指標に合わせて毎年、財政の健全性を確認しています。その状況を見てみましょう。

学力向上を図るため、プロジェクターやタブレットの導入、中学校校舎空調設備整備、小学校校舎改修：空調設備整備設計などの「子どもの教育対策」、移住・定住支援補助や新婚世帯への家賃助成などの「移住・定住施策」を実施しました。

問い合わせ 財政課 森田 ☎0054

① 実質赤字比率 黒字



普通会計（一般会計と土地取得特別会計の計）の赤字の程度を示す比率で、財政運営の悪化の度合いを示します。牧之原市は、収入総額が支出総額を上回っているため、黒字です。

② 連結実質赤字比率 黒字



牧之原市のすべての会計を合計した収支の赤字比率です。①の実質赤字比率と同様に、特別会計や水道事業会計を加えても黒字の運営をしています。

③ 実質公債費比率 8.6%



市（一部事務組合などを含む）の借金の返済額の大きさを示す指標で、この比率が高いほど返済負担が大きくなります。借金をするために県の許可が必要となる基準18%を平成25年度に下回り、今年度はさらに減少しました。今後も比率は減少していく見込みです。県下の平均値（6.7%）を目指して計画的な事業執行と財政運営に努めていきます。



④ 将来負担比率 9.1%



借金返済や将来も支払わなければならない負担金などの残高を指標化したものです。この比率が高いほど、将来、財政が圧迫される可能性が高いこととなります。

⑤ 資金不足比率 黒字（資金不足なし）



事業会計の料金収入に対する資金不足（赤字額）の比率で、経営状況の深刻度を示します。市の水道事業と農業集落排水事業については、資金不足はありません。

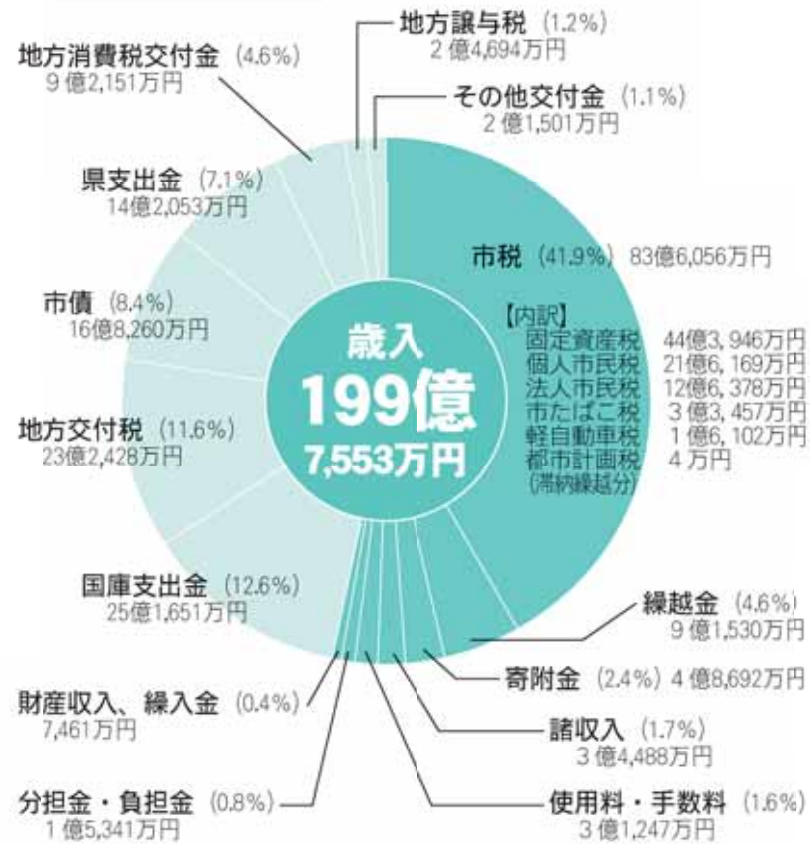
Table with 3 columns: 区分, 収入, 支出. Rows include 収益的収支, 資本的収支, and detailed breakdowns for water utility.

水道事業会計（企業会計）は、地方公営企業法に基づき設けた水道事業を行う特別会計で、民間企業と同様の経理や決算を行います。

Table with 3 columns: 特別会計名, 歳入, 歳出. Rows include 国民健康保険, 後期高齢者医療, 介護保険, etc.

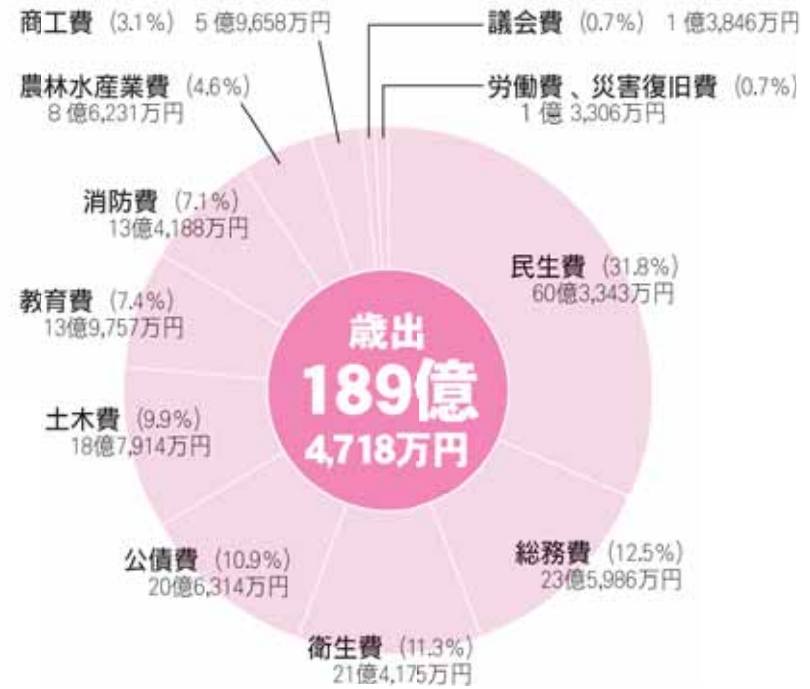
特別会計は、市が特定の事業を行うために、一般会計と区別して設けるもので、特別会計ごとに決算を行います。

依存財源 93億2,738万円 自主財源 106億4,815万円



歳入（収入） 平成29年度一般会計の歳入は199億7553万円（前年度比△2.7%）となりました。歳入の約4割を占める市税のうち、法人市民税は、市内大手企業が過去最高益を記録したことなどから、前年度比3億25万円（前年度比31.2%）の増額となりました。

固定資産税の土地については、沿岸部の地価の下落が止まらず減額となりましたが、償却資産については、自動車関連企業や太陽光発電設備事業者などの設備投資により増額となりました。しかし、津波対策事業完了による国庫補助金の減額などもあり、歳入全体では昨年度を下回りました。



歳出（支出） 歳出は、189億4718万円（前年度比△3.4%）となりました。旧片浜小学校活用推進事業などの新規事業や、保育士などの処遇改善による負担金・委託料の増加、男神地区ほ場整備、市道大倉壱丁田線整備、市道須々木大溝線改良工事、ICT教育推進のため

のプロジェクターなどの購入、相良中学校空調設備整備などの増額要因がりましたが、前年度に津波避難タワー、防災公園、放課後児童クラブ整備などの事業が完了したことなどから減額となりました。今後も、限られた財源を最大限有効活用し、事業の選択と集中を図り、健全な財政運営に努めていきます。

**生活
基盤**

快適で人が行き交う豊かな生活空間づくり



移住体験施設「HAZコテージ」

- ▼移住・定住事業 4781万円(総務費) 定住施策として、奨励金などの支援や移住体験ツアーを実施。
- ▼都市計画街路事業 1971万円(土木費) 都市計画道路(細江1号幹線)の未改良区間の工事を実施。
- ▼道路ストック補修支援事業 2億8148万円(土木費) 道路ストック修繕計画に基づき、橋りよりの補修および耐震補強工事5橋、橋りよりの撤去工事1橋、市道の舗装補修4路線、法面補修1路線を実施。
- ▼生活・幹線道路の整備事業 10億69万円(土木費) 国県道などを含めた広域交通ネットワークの整備を目的に、市内の主要幹線道路・生活道路の整備。
*市道志丁田北線・大倉志丁田線新設(3億4442万円)、市道東萩間西原線改良(5897万円)、市道須々木大溝線整備(2億8950万円)、津波避難路整備(1億8086万円)、市道八ツ枝毛ヶ谷線改良(4325万円)など

**健康
福祉**

支え合い、生き生きと暮らせる地域と人づくり



静波炊飯後児童クラブで遊ぶ子どもたち

- ▼放課後児童クラブ運営事業 6333万円(民生費) 利用定員の見直しを図り、子育て世代が仕事と子育ての両立ができるよう支援。
- ▼こども医療費助成事業 1億6996万円(民生費) 子育ての経済的負担を軽減するため、乳幼児から小中学生の入通院に係る医療費助成を実施。
- ▼臨時福祉給付金給付事業 1億318万円(民生費) 低所得者に対し、消費税率引き上げによる影響を緩和するため、臨時福祉給付金を給付。
- ▼ファミリー・サポート・センター運営事業 296万円(民生費) 地域において、育児の援助を受けたい人で行いたい人を仲介し、地域で子育てを行う環境づくりを支援。

防災

安全安心な暮らしを守る自助・共助・公助の体制づくり



大江地区防災公園(いのち山)

- ▼津波防災まちづくり事業 4億2259万円(消防費) 津波避難タワー1基、防災公園1カ所が完成。
- ▼プロジェクト「TOKA10」総合支援事業 2329万円(土木費) 木造住宅の耐震化や倒壊の恐れがあるブロック塀などの撤去への助成。
- ▼地頭方漁港海岸防備整備事業 9936万円(農林水産業費) 海岸背後地に居住する住民の生命・財産を守るため、防潮堤の整備を実施。
- ▼同報無線デジタル化整備事業 1566万円(消防費) 同報無線のデジタル化の検討、電波伝搬調査などの設計を実施。

**教育
文化**

地域全体で学び、育てる教育の場づくり



タブレット端末を授業に導入

- ▼ICT(情報通信技術)活用推進事業 2128万円(教育費) 学力の向上を図るため、プロジェクトやタブレットを導入。
- ▼スクールバス運営事業 471万円(教育費) 小学校の統合に伴い、児童の通学手段を確保するため、スクールバスの運営を実施。
- ▼小学校(勝間田・坂部)校舎改修事業 684万円(教育費) 管理教室棟の大規模改修工事の設計業務委託を実施。
- ▼相良中学校サブグラウンド改修事業 5400万円(教育費) グラウンドの機能復旧工事を実施。
- ▼英語力向上サポート事業 2256万円(教育費) 小中学校において5人の外国人指導助手(ALT)の配置や、イングリッシュキャンプなどを実施。

**市政
運営**

実効性と柔軟性を備えた組織と仕組みづくり



旧片浜小学校において手すりの設置やトイレ改修、駐車場整備などを実施

- ▼旧片浜小学校利活用推進事業 5468万円(総務費) 新たな教育・人づくりの拠点として利便性向上を図るため、学校施設の改修工事を実施。
- ▼総合健康福祉センター大規模改修事業 959万円(民生費) 福祉部門の集約化と、施設の老朽化に伴う設備改修のための設計を実施。
- ▼自治振興事業 4942万円(総務費) コミュニティ活動やその拠点となる集会所などの施設整備に助成金を交付。
*東五丁目公民館、青池公民館、道二公民館、仲町公民館、豊岡区コミュニティ活動備品など

**産業
経済**

活力とにぎわい、人を呼び込む産業づくり



アメリカ合衆国との「事前キャンプ等に関する覚書」締結式



中華人民共和国との「事前キャンプ等に関する覚書」締結式

- ▼東京五輪事前合宿地等誘致事業 130万円(商工費) アメリカ合衆国、中華人民共和国のホストタウンに登録され、「事前キャンプ等に関する覚書」を締結。
- ▼新拠点開発推進事業 2931万円(商工費) 東名高速道路相良牧之原インターチェンジ北側区域の開発を図るため、土地区画整理事業の実施に向けた調査、測量などを実施。
- ▼御前崎港利活用推進事業 540万円(商工費) 御前崎港の新たな利活用方法として、帆船「海王丸」などを誘致。
- ▼農業基盤整備促進事業 1億5888万円(農林水産業費) 小区画で不整形、道路にも接続していない水田や茶園において、ほ場の区画整理を実施。